

年間授業計画

足立東高等学校令和8年度(1学年用) 教科 芸術 科目 書道 I

教科: 芸術 科目: 書道 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 6 組 選択者

教科担当者: 石井

使用教科書: (書道 I (大修館書店))

教科の目標:

【知識及び技能】

書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		漢 仮	漢	仮						
<p>○漢字の臨書</p> <p>【知識及び技能】 古典に即した用筆、運筆との表現の関わりを理解し使い分け、その基本的な表現技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古典に即した字形や全体の構成を構想し工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典の臨書学習からその表現方法を主体的に考え、学習に取り組む。</p> <p>○作品制作(創作)</p> <p>【知識及び技能】 古典に即した用筆、運筆との表現の関わりを理解し意図に合わせた表現をする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 意図に基づいた古典の字形や全体の構成を構想し工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典の臨書学習からその表現方法を主体的に考え、書作品の学習に取り組む。</p>	<p>指導事項</p> <p>○漢字の臨書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の扱い方とその管理 ・基本点画と基本用筆法 ・書体や書風と用筆・運筆とのかわり ・古典に基づく基本的な用筆・運筆 ・古典や書体書風に即した字形や全体構成 ・参考古典「九成宮醜泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教所」「顔氏家廟碑」北魏の書等 <p>○作品制作(創作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図に基づいた表現 ・古典の線筆、字形や構成を生かした表現 ・用具用材と書体や書風の表現とのかわり <p>(教科書) p2~33、別冊p1~10</p>				<p>○漢字の臨書</p> <p>【知識・技能】 古典に即した用筆、運筆との表現の関わりを理解し使い分け、その基本的な表現技術を身に付けている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 古典に即した字形や全体の構成を構想し工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古典の臨書学習からその表現方法を主体的に考え、学習に取り組んでいる。</p> <p>○作品制作(創作)</p> <p>【知識・技能】 古典に即した用筆、運筆との表現の関わりを理解し意図に合わせ表現している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 意図に基づいた古典の字形や全体の構成を構想し工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古典の臨書学習からその表現方法を主体的に考え、書作品の学習に取り組んでいる。</p>				18	
<p>○書道の用語、書道史、鑑賞方法</p> <p>【知識及び技能】 書体の変遷や古典に即した用筆、運筆との表現の関わりを理解し、表現効果を分析しながら鑑賞することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 著者や時代について理解を深め、古典に即した用筆や字形、全体の構成を構想し理論的に考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古典や書の歴史文化について主体的に考え、学習に取り組む。</p>	<p>指導事項</p> <p>○書道の用語、書道史、鑑賞方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の価値と根拠 ・漢字の書体の変遷 ・書の伝統的な鑑賞方法 <p>(教科書) p 2 ~ 3 3、p 7 6 ~ 7 9</p>				<p>○書道の用語、書道史、鑑賞方法</p> <p>【知識・技能】 書体の変遷や古典に即した用筆、運筆との表現の関わりを理解し、表現効果を分析しながら鑑賞している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 著者や時代について理解を深め、古典に即した用筆や字形、全体の構成を構想し理論的に考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古典や書の歴史文化について主体的に考え、学習に取り組んでいる。</p>				8	

